

## 意見書

川口市朝日環境センター施設整備事業についての環境影響評価は、下記の事項を勘案して調査、予測及び評価の実施、並びに環境保全措置の検討を行うこと。

### 記

#### 1 事業計画について

- (1) 国の排出削減目標（NDC）や、県、川口市の地球温暖化対策実行計画等との整合が図られるよう、様々な先進事例や今後の革新的な技術開発状況を参考にし、焼却施設から発生する温室効果ガスの削減を最大限考慮した事業計画を検討すること。
- (2) 導入施設、設備について、環境保全対策に関する最善技術の導入を検討し、環境負荷の低減に努めること。
- (3) 計画地周辺には、住居や公共施設があることから、搬入された廃棄物（可燃ごみ）から発生する臭気に対して、十分な対策を行うこと。  
また、休炉時における十分な脱臭対策を検討し、周辺に影響を与えないよう努めること。
- (4) 工事車両及び施設稼働後の廃棄物運搬車両の変化量を把握し、住民や周辺施設の利用者に影響を与えないよう努めること。
- (5) 焼却灰等の施設の稼働に伴う廃棄物について、更なる再資源化に努めること。
- (6) 遮水壁による封じ込め措置の効果について、調査結果を踏まえ、観測井において継続的な地下水の観測を行うなど適切に確認すること。

#### 2 調査、予測及び評価について

##### (1) 全般的事項

- ア 朝日環境センター施設建設時に環境影響評価が実施されていることから、既存資料調査時に当該環境影響評価書やその他関連資料を参考にした上で、調査、予測及び評価を実施すること。
- イ 処理方式に応じてガス量、騒音・振動等の諸元が異なってくることから、準備書作成時時点において、複数の処理方式を想定する場合には、処理方式毎に予測及び評価を実施すること。

## (2) 植物

植栽及び緑化の実施に当たっては、計画地周辺の植物群落の調査結果や土地利用状況を踏まえ、継続的な維持管理に努めること。

## (3) 景観

ア 計画地周辺には、教育施設（小中学校）があることから、眺望景観の調査地点として追加すること。また、主要な通学経路について、その利用状況を踏まえ、必要に応じて眺望景観の調査地点に追加すること。

イ 予測地点については、調査地点の調査結果（計画地の可視状況等）を踏まえ、選定すること。

## (4) 温室効果ガス等

ア 廃棄物の焼却に伴う温室効果ガスの排出量の予測にあたっては、処理する廃棄物の量及びプラスチックの割合等の組成が重要となることから、想定される廃棄物の量及び組成について必要な調査を行い最新の知見等を踏まえ、予測及び評価を行うこと。

イ 余熱利用（熱供給及び発電）に伴う温室効果ガスの削減量についても算定した上で、予測及び評価を行うこと。